

ライフイベントを周りでサポート

社会福祉法人 リデルライトホーム

〒860-0862

熊本市中央区黒髪5丁目23番1号

TEL 096-343-0489

FAX 096-343-0476

- 代表者／小笠原 嘉祐
- 業 種／社会福祉法人
- 従業員／168名
- 事業概要／老人福祉事業

[<http://www.riddell-wright.com/>]

アピールポイント

1

ガイドブックの作成で制度の周知徹底と活用促進

妊娠、出産し復職するための制度活用やその流れを説明した「子育てガイドブック」を作成しています。当法人の各種制度の周知に努め、情報を発信。職員の要望を取り入れ、就業規則を現場に合うように改めています。

2

独自の子の看護休暇制度

子の看護休暇制度では第1子は年5日間、第2子から年10日間ですが、当法人は独自に第3子は年15日、以降、子が1人増えるごとに2日を加えた日数が取得できます。また8時間勤務の職員は4時間の半日休暇が取得できます。多くの職員が制度をフルに活用しています。

3

フレキシブル勤務シフトの導入

4週間で160時間の勤務を設定し、1日の勤務時間を4時間から10時間の7シフトのフレキシブル勤務を導入。職員の希望を優先する勤務形態にしています。

職員の声

介護福祉士 丸山 大輔さん
介護福祉士 丸山 智子さん

職場結婚して3年目、1歳8カ月の男の子がいます。妊娠が分かった時点で夜勤から外れ、持ち上げたりする仕事はしないように言われました。

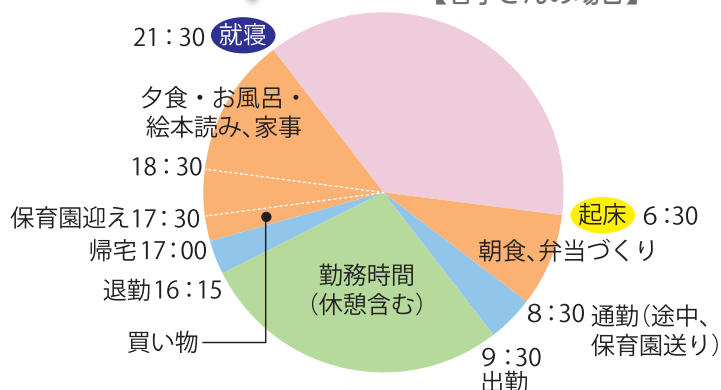
仕事を続けたかったので産前・産後休業と育児休業をいただいて現場に復帰しました。保育園の迎えがあるので、短時間勤務にさせていただき、夜勤もありません。保育園の休みに合わせて仕事の休みを取らせてもらうなど職場の皆さんに支えられています。

夫も子どもをお風呂に入れてくれたり、子どもが病気の時看護休暇をとって病院に連れていってくれたり協力してくれますので、仕事をしながら楽しく子育てしています。



1日のスケジュール

【智子さんの場合】



Interview

事務部長 木村 准治さん



出産や親の介護など家庭の事情で働けなくなるのは、せっかくキャリアを積んできた本人はもちろん当法人にとっても大変もったいないことです。多くの方が直面する出産、子育てなどのライフイベントを周りでサポートし、働きやすい職場にしていきたいと考えています。

子育てしながら仕事を続けられる制度はある程度は整っていると思います。しかし制度があっても活用しなければ意味がありませんので、その周知と利用促進に力を入れています。特に男性の育休取得を働き掛けているところです。